

〃人を隔てる心〃

R 8. 7. 29 於、加茂法話会

①

いかなるが苦しきものと問ふならば 人を隔つる心と答えよ

(良寛和尚)

②

『摩訶般若波羅蜜多心經』、通称『般若心經』といわれるお經

(摩訶) 大なり。身なきをいう。

(般若) 何もなき所より出づるちえをいう。

〔至道無難禪師1603～1676〕

③

無財の七施『雜寶藏經』ぞう

和顏施げん(顔の施し)

眼施げん(目の施し)

言辭施ごん(言葉の施し)

心施(心の施し)

身施(身体しんの施し)

牀座施しょう(席しを譲る)

房舎施(家に泊める)

④

「愚人謂(おも)わくは利他を先とせば自らが利省(はぶか)れぬべしと、

爾(しか)には非ざるなり、利行は一法(いっぽう)なり、普く自侘を利するなり」

(『修證義』「發願利生」)